

# ウクライナ避難民の現状

～相談対応から見えてきた課題～



大阪国際交流センター  
常務理事 兼 事務局長  
梅元 理恵

国際ロータリー第2660地区  
2023 - 2024年度のための地区研修・協議会

# ウクライナ避難民の現状 ～相談対応から見えてきた課題～

公益財団法人 大阪国際交流センター

- 1 ウクライナ避難民支援の取組み
- 2 中長期的な日本滞在における課題と支援
  - (1) 自立へ向けた課題
  - (2) 取組み
  - (3) 事例紹介
  - (4) 課題解決に向けて



# 1 ウクライナ避難民支援の取組み

## 避難民



## 支援施策



## 大阪市

- 全区に相談窓口設置
- 支援金の支給  
(世帯あたり50万円、単身30万円)
- 市営住宅の無償提供 (50戸)  
(生活家電: エアコン、ガスコンロ等  
(株)エディオンより)
- (生活物品: 消耗品等 (コーナン商事株)より)
- ホテルの無償提供  
(大阪国際交流センターホテル)
- ポケットクワの提供 (ポケットクワ株)より

- 学校受入れ (小・中学校)
- 国民健康保険料・介護保険料等減免

## 財団の役割

- 大阪市とともに、避難民支援センターを運営
- ・相談窓口
  - ・支援金、市営住宅申請案内
  - ・ホテルの一時滞在支援
  - ・在留資格変更、区役所での手続き申請サポート
  - ・買い物同行、日本語学習案内等生活サポート
  - ・ウクライナ人コミュニティ設立、運営支援

<財源>

大阪市



日本財団

# 1 ウクライナ避難民支援の取組み

1. ウクライナ関連相談件数 (R4.2/1~R5.2/28) **602件**

2. 同行通訳・翻訳サポート (R4.5/14~R5.2/28) **48件** (うち同行通訳8件、同行支援4件)

3. 大阪市との連携 (R5.3/13現在)

① ホテルでの一時滞在支援 (大阪国際交流センターホテル) **利用済13世帯22名、利用予定1名**

② 生活支援金手続きと連携したサポート等 **29件** (単身15件、世帯14件)

4. 日本語学習支援

① 独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)と連携 **30名** (対面、オンラインにて実施) 週5日全51日)

② まつざき日本語教室 **12名** (対面) ※避難民が多く暮らす市営住宅集会所で週2回開催 (6カ月コース)



# 1 ウクライナ避難民支援の取組み

## 5. ウクライナ人コミュニティ交流会 ※ウクライナ避難民&在住ウクライナ人が企画運営し、毎回楽しいイベントを開催

第1回 6/19、第2回 7/17、第3回 9/18、第4回 10/16、特別回 10/22

※在住ウクライナ人、ウクライナ避難民のみ参加/毎回の参加者 50名程度(うち避難民約40名)



第4回  
ハローウィン



第2回でひまわりの絵を描き、第3回でコンテストをしました

【特別回】 ※他団体との連携



特別回 ウクライナの人気アーティスト KAZKA との交流会

# 1 ウクライナ避難民支援の取組み

## 5. ウクライナ人コミュニティ交流会

※ウクライナ避難民&在住ウクライナ人が企画運営し、毎回楽しいイベントを開催

※ウクライナ避難民を支援している日本の企業、団体の方々、一般の日本人親子も参加)

- 第5回 11/20 参加者 36名 (うち避難民21名/日本人13名)
- 第6回 12/18 参加者 85名 (うち避難民49名/日本人28名)
- 第7回 2/19 参加者 88名 (うち避難民62名)
- 特別回 1/22 参加者 132名 (うち避難民54名)、1/28 参加者 13名 (避難民)
- 2/24 参加者 100名 (うち避難民60名、日本人ほか40名)



第5回 ウクライナ人と日本の地図を作ろう



第6回 クリスマス会

### 【特別回】 ※他団体との連携



第7回 立春のお祭り「マースラナ」



浜寺公園でBBQ (1/22)



此花警察署 交通指導 (1/28)



ウクライナの平和に祈りを捧げる「キャンドルナイト」 (2/24)



## 2 中長期的な日本滞在における課題と支援

### (1) 自立へ向けた課題-生活・日本語・就労など

#### ① 日常生活における課題

□各種保険、税金の手続き、健康、自治会参加 など

#### ② 日本語習得における課題

□就労・就学に伴う日本語能力の向上 など

#### ③ 就労における課題

□就労していない（求職中）、パートタイム、  
ミスマッチによる退職 など

## 2 中長期的な日本滞在における課題と支援

### (2) 取組み内容 - 実際の対応

- ・ ウクライナ避難民を雇用したい企業  
➡外国人雇用サービスセンターの登録を案内
- ・ 求職中のウクライナ避難民  
➡外国人雇用サービスセンター  
(ウクライナ避難民就労支援窓口) を紹介
- ・ その他：身元引受人による雇用、知人による紹介、  
ネット検索、ウクライナとオンラインで  
仕事 など

当財団では、雇用のマッチングを行っていない！  
(できない)

## 2 中長期的な日本滞在における課題と支援

### (3) 事例紹介 - マッチング成功事例①

受入れる側の配慮により、継続した雇用が可能に

- 避難民 A さん（60代・女性）
- 和菓子屋さんでパートタイム勤務
- 当初、店頭での仕事を割り当てられたが、本人の希望により、非接客の業務に変更
- 高齢のためキャリアアップは望んでいない

★こちらの会社では、複数名のウクライナ避難民雇用を実現している



## 2 中長期的な日本滞在における課題と支援

### (3) 事例紹介 - マッチング成功事例②

#### 職場の人間関係が円滑、モチベーションアップに

- ・ 避難民Bさん（20代・男性・元IT業界）
- ・ 一般企業でフルタイム勤務（展示会装飾など）
- ・ 当初、職場のルールに不満を感じており退職を検討していた
- ・ 安定した雇用形態と収入、人間関係が良好になるにつれて、継続した就労が可能に
- ・ キャリアアップを望んでいる



★ウクライナにいる父へ毎月送金中

## 2 中長期的な日本滞在における課題と支援

### (3) 事例紹介 - マッチング成功事例③

#### 本人の能力を引き出す環境と外国人への理解

- ・ 避難民Cさん（20代・女性・元美術業界）
- ・ 外国人雇用をしている企業に就職
- ・ 美的センスを活かして、ウェブデザイナーに
- ・ 必要な技術は、企業が指導
- ・ 日本語の上達を目指し、地域の日本語学校へ
- ・ キャリアアップを目指している

★特定活動ビザ➡就労ビザへ



## 2 中長期的な日本滞在における課題と支援

### (3) 事例紹介 - マッチング失敗、環境要因など

#### ●ウクライナ雇用/労働相談 23件 (R4. 2. 1~3. 30)

- 避難民Dさん (40代・女性・元上席者)  
ホテル清掃の職に就いたが自尊心が低下し退職
- 外国語 (日本語・英語など) 能力不足により、  
多くの避難民は、希望する職に就くことができていない
- 子育て中のため、働くことができない
- 情報不足、など

## 2 中長期的な日本滞在における課題と支援

### (4) 課題解決に向けて

- ウクライナ避難民への就労先の拡大
- 避難民の持つスキルに合わせた雇用
- 様々な雇用形態（パートタイム含む）への対応
  - 避難民への理解を持つ雇用先とのマッチング
  - 企業・避難民との直接的な出会いの場  
(就職説明会)

### <働こうとする避難民の側の課題>

- 避難民の日本語力の向上
  - ・ 避難民の持つスキルの説明
  - ・ 避難民自身の環境の説明

ご清聴ありがとうございました

